



ほけんだより 5 月号

新年度が始まり、1 か月が経とうとしています。子ども達も新しい環境に慣れ、毎日元気な声が聞こえてきます。ゴールデンウィーク中はお出かけ先の救急病院等を事前に調べ、緊急時に備えましょう。また、長いお休みの後は、疲れが出やすくなるため、園でも、子ども達の体調の変化を、細やかに見守っていこうと思います。ご家庭でもお子様の体調変化にご留意くださるようお願いいたします。

社会福祉法人大和善隣館
やざき乳児保育園
令和 8 年 5 月

手洗いのお話をしました

手には目には、見えないばい菌がたくさんついていて、ばい菌が、お口やお鼻から体の中に入ると、お腹が痛くなったり、お熱がでたりして楽しく遊べなくなることをお話しました。

大好きな
★きらきら星★を替え歌に
して手洗いしています。

ばい菌
いっぱい
だね

これからも手洗いの大切さを小さいながらに理解し、体を大切にしていけることを伝えていきたいと思います。

おらせ

6月1日(月)9:00より、曾山歯科クリニックの曾山医師による歯科健診を行います。お忙しい中大変申し訳ありませんが、当日は**8:50分までに登園**してくださるようお願いいたします。なお、やむを得ず、当日欠席されたお子様は、後日、保護者の方とクリニックへ健診にいらしてください。



つめを切って清潔にしましょう

つめが伸びていると、つめと指の間にはばい菌が繁殖しやすくなります。また、乳児の柔らかい肌を傷つける危険性もありますので、つめは、細目に切るようにしましょう。ただし、深づめには要注意です。切りすぎて肌を傷つけ、化膿してしまうこともあります。



予防接種の確認をお願いします



集団生活を送る中で、様々な病気に対しての予防接種は病気の重症化を防ぐためにも有効な手段となります。母子手帳などを確認し、定期接種のし忘れがないか、確認しましょう。

麻疹・風疹混合ワクチンについて

麻疹・風疹は強い感染力のある病気です。

1 歳になったらなるべく早めに予防接種を受けることをお勧めします。定期接種は 2 回を予定されていますが、2 回目は年長さんの 1 年間になります。(この時期を過ぎると、自己負担で接種しなければなりません)

熱中症に気を付けましょう

近年、気温が上昇する時期が早まっており、早くからの熱中症対策が必要となります。まだ体は暑さに慣れていませんので、急に気温が高くなる春先は、注意が必要です。しっかり対策をしましょう。適度な外遊びをして、体を暑さに慣れさせていくことも大切です。

定期的な水分補給をし かに行いましょう

- ★外に出る時は、必ず帽子をかぶりましょう。
- ★外に出る時間帯、長さを考慮します。
- ★車中では短時間でも**絶対子どもを一人にしない**ください。

熱中症になったかも？と思ったら…

- ・涼しいところで休みましょう。
- ・意識がしっかりしているときは水分を飲ませましょう。
- ・冷えたタオルや保冷剤で首やわきの下などを冷やしましょう。

麻疹

約 10 日間の潜伏期間を経て感染します。発熱、咳、鼻水などの症状が出始め数日後に首筋、顔から赤い発疹が出てから一旦解熱し、再発熱で 38.0～39.0℃の熱が上がり、発疹は全身まで広がります。**全身症状は強く、罹患すると、とても辛い病気です。また肺炎、中耳炎、結膜炎、脳症などの重い合併症を引き起こす可能性があります。感染力が強く、免疫力がない場合は注意が必要です。**

風疹

2～3 週間の潜伏期間を経て感染します。赤い発疹が顔から現れて全身に広がります。耳の後ろや首の後ろや首の後ろのリンパ線が腫れることもあります。「三日はしか」と言われるように、3 日程度で熱も下がり発疹もきれいに消えます。**妊娠中の女性がかかると、赤ちゃんが先天性風疹症候群にかかる可能性があります。妊娠すると、予防接種が受けられませんので、周囲の人が予防し、移さないようにしましょう。**